

ブライアン・ケンプ知事が、ジョージア州結果の完全署名 の監査を命令

知事いわく、州上院の監督委員会の公聴会による証拠が「心配だ」

@NeonNettle

December 4, 2020



Brian Kemp 知事が、州選挙結果の完全署名の監査を命令した

ブライアン・ケンプ知事（共・ジョージア）は、ジョージア州の選挙結果について、完全署名を求める監査を命令し、この州の上院政府監視委員会公聴会から現れてくる証拠は、「憂慮させるもの」だと警告した。

この共和党知事は、大統領選における選挙詐欺の申し立てに従って、署名による証明を求める、トランプ陣営の要求に賛同した。

ケンプは現在、ジョージア州務長官ブラッド・ラッフエンスバーガー（共）に、メール投票用紙の要求する署名が、投票者から返された投票用紙に合っているかを確認するように、求めている。

「私は早い時期に、署名監査を求めている」と、ケンプは明らかにした。

「当然だが、州務長官は、憲法に従ってそれを命令しなければならないだろう。彼はそれをやらなかった。」

「それは必ずやるべきことで、そこには透明性がなければならない」と、ケンプは念を押して言った。

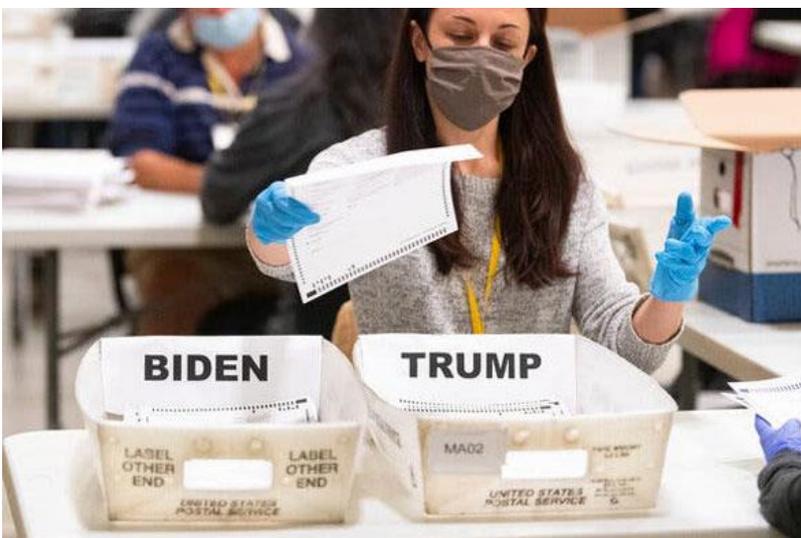


ブライアン・ケンプ知事は、トランプ陣営の署名確認の要求に同意した

「私はもう一度それを要求したい。そうすれば、できれば次の24時間以内に、きょう州議会が行った公聴会から、より多くの成果が得られると思う。そして次の段階でどう対処できるかがわかる」と、ケンプは言った。

ケンプはこの報告を、木曜日の夜、フォックス・ニュースへのインタビューで行った。

一方、ケンプは、トランプの支持者ということになっているが、長い歴史を通じて民主党を支持している Lin Wood 弁護士を、こき下ろした。



この監査は、投票用紙に要求された署名欄をチェックし、投票者から帰ってきた投票用紙に合わせている

ウッドは、多くの保守党员から、来るべき上院の決戦投票で投票しないように呼び掛けていたことで、激しい怒りを買っている。

「それはリン・ウッドが、きょう言っていたことと同じだ。彼は人々に、この選挙では投票に行かないように奨励していた。それはすべて、過激派に彼らの求めるすべてを与えるためなのだ。

「これは文字通り防火壁だ。

「それで私は、我々全体が協力して、人々の投票が生きていることと納得させるためには、どうすべきかを考えなければならないと思っている。」

【Greatchain 訳注】

12月2日に、トランプ大統領の46分間の、選挙詐欺・投票スチール（詐取）に対する弾劾演説が出たとき、反トランプ側の「ウソつきトランプ」を言い立てるネット記事が、ほとんど全面を覆いつくした。しかし、時間とともに、ここに示した例のような、真実と、トランプ陣営への支持を表明する勢力は、大きくなっていくように思われる。たとえば、これを書いている最中に、前カトリック大司教の「バイデンへの聖餐式を拒否せよ」という呼びかけが出たが、これなどバイデンを正しく、人間への敵と見ているわけだから、効果はあるだろう。

インターネットをよく利用する人々をご存知と思うが、質問の仕方で相手（反トランプ）の本音を探り出すことができる。たとえば「民主党は、なぜ〈ドミニオン〉詐欺を認めないのだろうか？」と聞くと、「それは clerical な（事務的な、ささいな）誤りをトランプが騒ぎ立てているのだ」という答えが返ってくる。こんな回答に騙される人は、今ではほとんどなくなり、ますます詳細な真実が明らかになりつつある。いかにバイデン側が苦しいか想像がつく。（もし彼らに良心があれば、という条件が入るが、彼らに良心はないと断言できる。）機械を使った、大規模で、巧妙な不正選挙というものが、どれほどの重罪であるかを、普通の人間なら想像できるだろう。

そこで、わが国のニュース報道や解説をする方々に申し上げる。アメリカのこの選挙戦は、2つの政治勢力の争いでなく、どちらが正しく、どちらが間違っているか、すなわち善悪、正邪の争いであることが、これではっきりしたのだから、そのように報道や解説をしてい

ただかないと、特にインターネットなどを利用しない多数の日本人には、多大の迷惑をかけることになる。